

西成区長タウンミーティング議事要旨 (今宮中学校)

【日時】

平成25年2月12日(火) 午後7時～午後9時

【場所】

今宮中学校 多目的室

【臣永区長あいさつ】

皆様がふだん感じていることを率直に色々なご意見をお伺いし、区政・市政に反映させていきたいと考えている。先週、天下茶屋中学校で第1回目をスタートさせ全6回開催する。今回で終わるつもりではないが、これだけの規模となると準備にも時間がかかるので頻繁に開くことは難しい。今日は、時間の許す限り、行政の説明は最小限に控え、皆様のご意見、ご要望をお伺いしたいと思っている。

【区役所からの今後の区政方針について説明】

- ・ 西成区の現状を統計数字で説明。
- ・ 平成25年度予算要求
- ・ 平成25年度西成区運営方針(素案)
- ・ 西成区将来ビジョン(素案)
- ・ 西成特区構想
- ・ 行政区のブロックの区割り試案

【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 生活保護受給者で要介護認定を受けている人に対して、違う部署どうしの横のつながりができていない。どうなっているのか。
- ・ 区役所の職員で西成区に住んでいるのは何人いるのか。若い職員を区内に住ませたらい。西成区内に住まないで西成区のこととは分からない。
- ・ 野宿者は、夜中、労働福祉センターのシャッターが閉まったらトイレに行けない。私の住んでいる住宅で小便をする。簡易トイレ1つでも作ったらいいのではないか。
- ・ 萩之茶屋市営住宅の耐震問題は、どうなっているのか、担当局の動きが分からない。
- ・ おたくら野宿者と話したことあるのか。上目線で気持ちが分かっていない。職員は机の上ではなく、現場に行かせて勉強させたらいい。
- ・ 住吉市民病院について、橋下市長の答弁で、各区長が住民への説明会すると答弁している。それを受けて臣永区長へ何度も足を運んでいるが、説明会を開くことはできな

い、タウンミーティングでお話くださいということなので、お話をさせていただく。区
の目標として、子育て世代を中心に呼び込んで西成区を活性化させるということなので、ぜひ住民の皆さんに、住之江区は説明会をしているので、西成区でも開催して
いただきたいと思います。

- ・ 小中一貫校で今宮小学校がなくなることには反対である。校区が長すぎて小さい子には危険である。橋下市長はスーパー校とか言っているが、何か特別のエリートを育てるのを目的にしたような学校にしないで、西成らしく、お互いに助け合う子どもをつくらせて欲しいと思う。
- ・ 小中一貫スーパー校をつくることは、おもしろい目的だと思う。しかし、薬を売人が売っていたり、針が落ちてるところへ子どもを行かせたくない。あいりんの方を責めているのではない。まず、環境を整えて欲しい。どんな環境かもっと見て欲しい。なぜ3校統合と環境改善を同時に行わないといけないのか考えて欲しいと思う。
- ・ 3校統合のスーパー校の件について、市の提案内容に対して、住民の方がすごく温度差があると感じる。温度差をできるだけ解消して欲しいと思う。
- ・ 小中一貫スーパー校の前に、先に学校選択制の話を進めるべきではないかと思う。
- ・ 子どもたちを安全・安心なまちとして通学させるためには、単に周辺の通学路だけではなく、抜本的に西成全体の安全・安心のためにやらねば安全な通学路はできないと思う。
- ・ 警察の発表によると、様々な犯罪の件数が、西成区で一番少ない場所はいいりん地区となっている。しかし、一番の問題は、針が落ちていることである。もう少し西成の警察も、覚醒剤のはびこることを何とかしてもらいたいと思う。なぜ覚醒剤という問題がたくさんこのまちにあるのかということを考えて欲しい。あいりん地区は、しんどい課題を抱えている人にもやさしい、子育てにはいいまちだと思う。
- ・ シェルターは、ずっと以前に期限が切れているので撤去になってもいいはずなのに今も続いている。どうなっているのかと思う
- ・ 3月末で赤バスが廃止となるが、高齢者の方、赤ちゃんを乗せた若い女の人がバギー車で利用している。区長はどう考えているのか。
- ・ 赤バスは大阪市が運営しなくなっても、区の権限で運営することになっているのだから、類似のコースは作って欲しいと思う。
- ・ 各家で新聞を取るところが大幅に減っており、市政だよりを読んでいる家も多いと思うが、どう考えるのか。
- ・ 広報紙を各家に配布している自治体もあると聞いているが、配布できないのか。
- ・ 学校の統廃合のことが教育問題としてだけ語られているが、災害支援対策の視点も必要ではないかと思う。災害はいつ来るのか分からないので、並行して計画を立てて欲しいと思う。
- ・ 地域で起こる問題を地域で解決する力をつけるためにも、子どもの活力作りは必要である。子どもの居場所について、ぜひ考えて欲しいと思う。

- ・ 幼稚園の民営化について、幼稚園がなくなると遠いところへ通園することになり、子どもを見守る人がおらず危ない状態になる。配慮を要する子どもの受け入れは、民間でできるのか。
- ・ 幼稚園の民営化を、園児数で決める方法はしないで欲しい。
- ・ このタウンミーティングの形自体、古くさい形式である。なぜフェイスブックやインターネットを利用しないのか。
- ・ 橋下市長がよくホームページを見てというが、インターネットを見ることができる人がどれぐらいいるのか考えたほうがいい。
- ・ 西成区の人口は減少している。まちをよくするには、優秀な若手に来てもらい、大型の予算をつくらなければならない。

【区役所からの発言】

- ・ 職員が他部門の知識が足りずに十分な対応ができなかった点、本当に申しわけございません。今後、同様のことがないようにしていきたいと思っている。
- ・ 職員が西成に居住していないご指摘ですが、基本的には居住区の区役所には配属しない大阪市の方針がある。しかし、近年防災の関係で、震災等が起こった場合にいち早く区役所に参集ができるよう、本年は居住区の区役所に配属を希望する取り組みが進められている。
- ・ この間、職員が地域に出て行き、地域の現状を見て、地域の人と触れ合うことで行政に生かしていく具体的な取り組みを進めている。また、これから特区構想等も進んでいく中で、取り組みをさらに進めていく必要があると思っている。
- ・ 小中一貫校の教育内容について、橋下市長は、全市からも来ていただける夢のある学校にしたいという思いがある。また、鈴木大阪市特別顧問も基礎学力をつける提言をしている。一貫校は市内7、8校予定されているが、各々が特色ある学校づくりをしていくので、様々な議論があると思っている。
- ・ 環境問題については、非常に厳しいご意見をいただいている。そのことを踏まえ、今までは大阪市のみで話を行っていたが、警察にもオブザーバーとして入り、地域の方々と共に考えていく場をつくっている。
- ・ 通学路については、現在、教育委員会が、南海電車の1駅分の通学定期を1年生から6年生までの児童と、1年生から3年生までの保護者のうち希望される方に支給することを検討している。また、新たな通学路の歩道設置の案も検討している。このような取り組みをトータルで見ていただきご理解いただきたいと思う。
- ・ 学校選択制については、教育委員会がベースを出した後、区において若干工夫できると示されている。平成27年の統合も見据えながら、皆様と話をする機会を持ちたいと思っている。
- ・ 小中一貫校の課題については、3地域の皆様と通学路について具体的なお話を何回かさせていただいた。しかし、西成区では、小中学校の児童が大変少なくなっている状

況では、小学校の統合を検討していかなければならないと考える。統合を検討する中で、環境の問題が大事ということで、今回、教育委員会だけではなく大阪市の各局が集まり色々進めている。今後も、各局が様々な知恵を出し、皆様とご相談しながら進めていきたいと考えている。

- ・ シェルターについて、建設当時は、寝るところがあれば朝仕事場に行けるという時代に、一時的に過ごすために建設した経緯がある。また、西成特区構想有識者座談会の中で時代とともに考えてくべきと提言されているので、地元の方と話しをしながら進めていきたいと考えているのでご理解いただきたい。
- ・ 区の広報紙について、新聞折り込みで配布している。新聞を取っていないご家庭については、区役所にお申し出をいただいたら、個別に配達する手続となっている。
- ・ 大阪市でも区によっては、新聞折り込みをせず、全ご家庭に直接配達している区もあると聞いている。西成区においては、非常に世帯数が多いので、お申し出いただいた方に配達させていただいている。
- ・ 学校統廃合後の跡地について、防災面というのは大きな事項だと思っているので、皆様から色々なお話を聞かせていただき、進めていきたいと考えている。
- ・ 幼稚園の民営化について、現在、大阪市の方針は、民間でできることは民間でということになっている。また、市立の幼稚園の園児が全員私立に行っても、なお定員には達していない状況がある。各幼稚園には地域性や長い歴史があるが、一定人数の園児がいないと集団生活が成り立っていかないという現実もあるので、拙速には進めないがご理解いただきたいと思っている。
- ・ フェイスブックなどの利用について、できれば近々実施していきたいと思っているが、環境が整わない状況である。区長がツイッターを行っているので、色々ご意見も伺えることはできるので、ご利用いただければと考えている。
- ・ 紙媒体の「にしなり我が町」も充実させるよう努力していきたいと思っている。

【区長からの発言】

- ・ 前回のタウンミーティングでも、住吉市民病院の統合についてご質問いただいた。そのときはまだ言葉足らずだったと思うが、橋下市長からは、区民の声をしっかり聞きなさいと直接言われている。ただし、去年の議会答弁でも病院の統合については区長に権限は与えていないと、これも明言されている。しかし、なぜ進めていくのかなどについて、十分区民の皆様などに説明をするのは一番身近な区長がやって欲しいと言われている。皆様の存続を希望する声などがあることも承知している。病院局から十分話を聞いた上で、またお話をさせていただく機会を考えていきたいと思う。
- ・ 財政が豊かであった時代はいろんなことができた。しかし、現在は、そのような状況にない。赤バスも残して欲しい、病院も残して欲しいとなったときに財政がもつのかどうか。何を残してどうするかというのは、皆様の決めることである。しかし、市民一人一人ではなく、自分たちが選んだ議会や市長が決めていくことである。赤バスに

については、現状の西成区では、民間のバス会社などが手を挙げる状況ではない。しかし、どうしても交通の便が悪いところで他に代替案がないところに関しては、4月から違う形を考えている。

- ・ 小中一貫校について、誤解があると思うが、橋下市長はスーパーという言い方はしていないと思う。新しい統合した形で色々なところから来ることができることだと思う。通学路の問題とか、西成区全体の環境問題なども考えていかなければならないが、きっかけをつくっていかなければ、前に進んでいかない。しかし、子どもたちが危険にさらされることがあっては絶対にならない。何をしなければいいのか、今、一生懸命知恵を絞らなければならぬと思っている。
- ・ 小中一貫校は、トップクラスの大学に何人入ったということに競う学校をつくることではないと思う。西成の多様な環境の中で子どもが育っていくことや、大人になった時にきっちりと働き、次の世代をつくっていくことができる人を育てることが大事だと思う。
- ・ 中学校の教室を借りて塾を開くことを考えている。バウチャー制度を使って個人負担がほとんどなく勉強ができる仕組みである。
- ・ 区役所が予算を決めることはできないが、決めるにあたっては皆様のご意見を伺って、できるだけ大きな方向性を見つめて取り組んでいきたいと思っている。